

風ぐるまフェスタ (11月22日 うかん常山公園)

「風ぐるまフェスタ2009inうかん」(同実行委員会主催)が行われ、多くの人でにぎわいました。野外ステージ「風の舞台」では、高梁高校コーラス部、地元グループによる郷土芸能などが披露され、歌手・宮路オサムさんの歌謡ショーもありました。

また、日本海から太平洋までの特産品が並ぶ「風ぐるまおもしろ市場」では、中土佐町(高知県)のカツオのたたき売りコーナーなども人気を集めていました。



有事に備えて訓練

(11月29日 神原スポーツ公園周辺)

大規模林野火災を想定した消火訓練が行われ、消防本部、消防署、市消防団高梁方面隊の5分団から、計128人とポンプ車など車両15台が参加しました。今回の訓練は、相互の協力体制の充実強化と、市民への防火意識の高揚を図るのが目的。公園に隣接した山林での火災発生を想定、近くの池から取水し、ホースを伸ばし放水しました。山頂付近の消火訓練では、県の消防防災ヘリコプター「きび」に出動要請し、空中消火訓練も行いました。

高梁のまちづくりを考えよう (12月6日 文化交流館)

「歴史を活かしたまちづくりシンポジウム」(「高梁の歴史的風致」を考える会主催)が開かれ、昨年施行された歴史まちづくり法に関する基調講演や、高梁の歴史や伝統行事等を活用したまちづくりについての意見討論会などが行われました。

歴史まちづくり法は、歴史や文化財・伝統文化等が一体となり育まれてきた地域固有の風情やたたずまい(歴史的風致)の維持・向上を目指す地方都市の支援を目的とした法律で、現在、市はその認定に向けて計画策定を進めています。



100歳おめでとうございます

11月7日に100歳(明治42年生まれ)の誕生日を迎えられた川上幸一さん(川上町地頭)を、市職員らが訪問し記念品や花束を贈って長寿を祝いました。

市内で100歳以上の人は12月9日現在で35人(男性7人、女性28人)。





格調高く華麗な演奏(11月22日 総合文化会館)

「人間国宝 二代 米川文子先生 高梁市名誉市民推戴記念演奏会」(同演奏会実行委員会主催)が開催されました。

「双調賛歌」や「明治松竹梅」など4曲を、米川さんが家元の双調会が披露。尺八の人間国宝・山本邦山さんと共演した特別番組「根曳の松」、また高梁三曲会による演奏もあり、およそ900人の来場者は優雅な調べを堪能しました。



冬絵ぶた 力作ずらり

(12月5日 マンガ絵ぶた公園一帯)

恒例の「冬絵ぶたイルミネーション」(備北商工会川上支所主催)の点灯式が行われ、アトラクションとして地元の子どものリズム体操などが披露されました。

公園はアニメキャラクターなどをかたどった冬絵ぶた12基とイルミネーションで彩られ、訪れた家族連れらの目を楽しませています。点灯は来年1月中旬まで。

響きわたるハーモニー

(11月29日 総合文化会館)

「第20回コーラスフェスティバル」が行われました。市内と吉備中央町の18グループが出演し、日ごろの練習の成果を披露。なじみのある歌謡曲やミュージカル曲など幅広い曲目で、会場に響きわたる美しい歌声に来場者はじっくりと聴き入っていました。



高梁川をきれいに

(11月29日 ききょう緑地周辺)

高梁川流域の住民らが河川敷等の清掃を行う、「高梁川流域クリーン一斉行動2009」(高梁川流域連盟主催)が実施されました。市内では、ききょう緑地前の川原を中心に行われ、約160人の参加者が清掃活動に汗を流しました。